

# 令和4年度 保育士等の勤務実態等に係るアンケート調査 (施設長向け) 集計結果

- 調査目的：保育士等の確保及び離職防止につながる施策（処遇改善、業務負担軽減など）を検討するために実施。
- 調査時期：令和4年11月7日（月）～令和4年11月18日（金）
- 対象施設：認可保育所（分園含む） 118施設  
幼保連携型認定こども園 47施設  
幼稚園型認定こども園 13施設
- 回答者数：85人
- 回答方法：鹿児島県電子申請システム

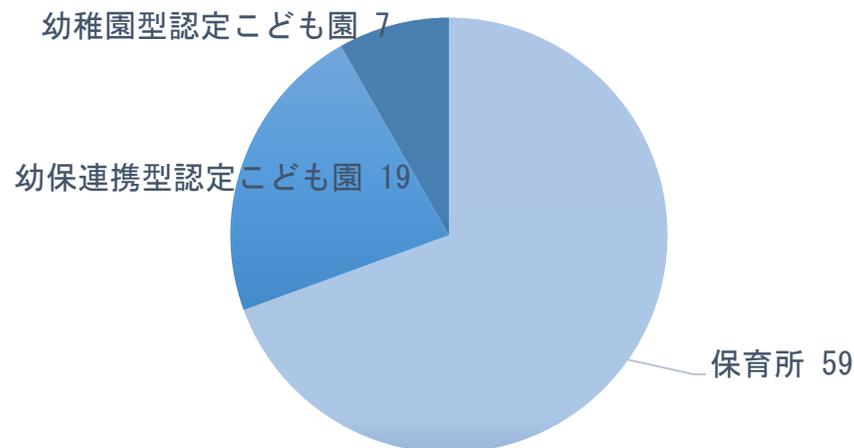
鹿児島市待機児童緊急対策室

【1】あなたが現在働いている施設の所在する区域を選択してください。

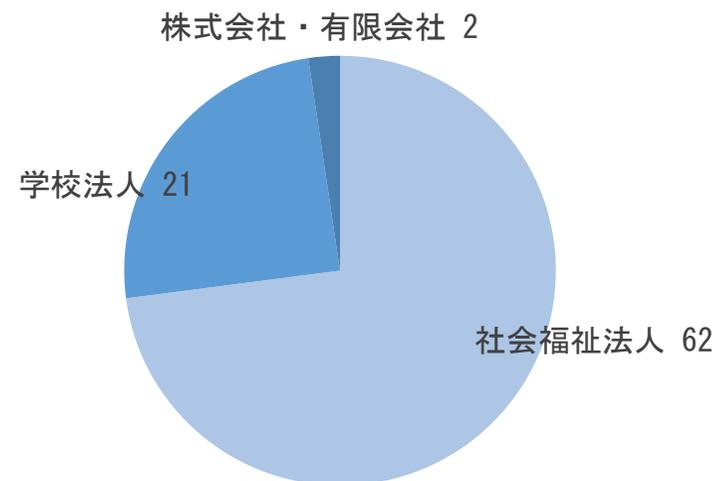
区 域	人数
谷山北部地区	14
谷山地区	12
鴨池地区	11
武・田上地区	10
中央地区	7
上町地区	6
城西地区	5

区 域	人数
吉野地域	5
伊敷地域	4
松元地域	4
喜入地域	3
吉田地域	2
郡山地域	2
桜島地域	0

【2】あなたが現在働いている施設の種別を選択してください。

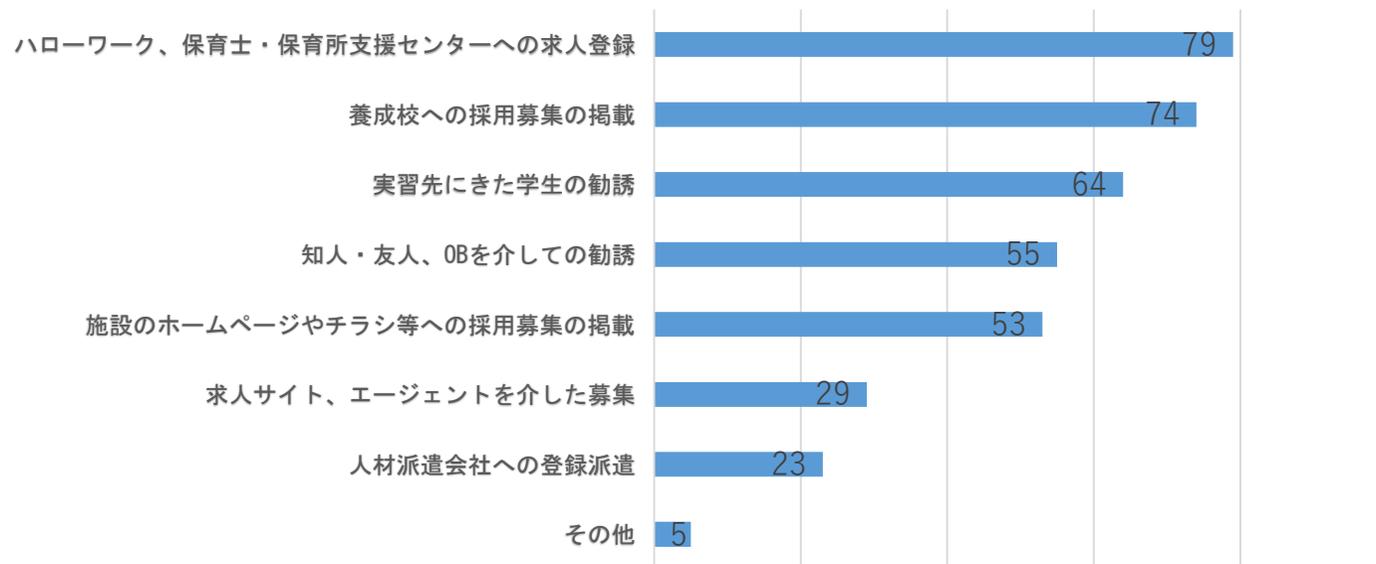


【3】あなたが現在働いている施設の運営主体を選択してください。



【4】保育士等確保の手法について、現在実施しているものを選択してください。（8個選択可）

保育士等確保の手法は、「ハローワーク、保育士・保育所支援センターへの求人登録」が最も多く、次いで「養成校への採用募集の掲載」、「実習先にきた学生の勧誘」となっている。



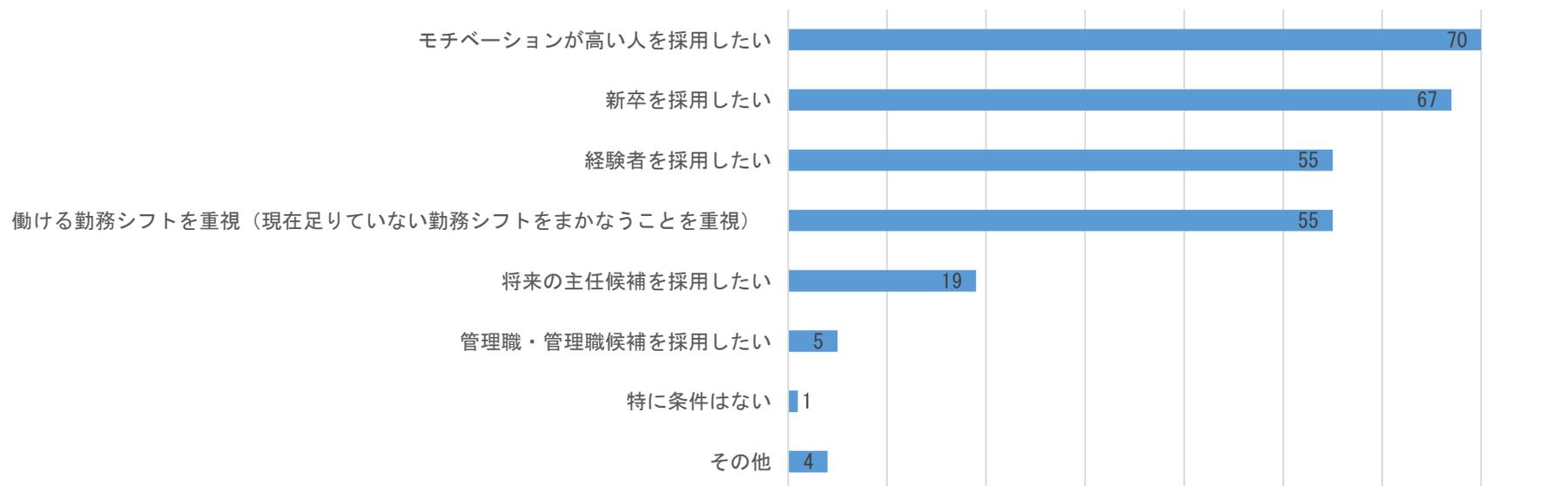
【5】【4】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

- ・ 求職者向けSNSの開設と情報発信
- ・ 園の掲示板告知及び近隣の公共施設でのチラシ等の掲示
- ・ 新卒者は鹿児島県私立幼稚園協会合同就職説明会にて過去3年採用（100%採用）
- ・ SNSによる情報発信
- ・ LINE公式アカウントを作成し、園見学等にきた方に紹介

（LINEのページは採用に特化した内容となっており、現在勤務する職員の声や保育の様子をみることができる）

【6】保育士等を採用する際に重視していることを選択してください。（5個まで選択可能）

保育士等を採用する際に重視していることは、「モチベーションが高い人を採用したい」が最も多く、次いで、「新卒を採用したい」となっており、「経験者を採用したい」と「働ける勤務シフトを重視（現在足りていない勤務シフトをまかなうことを重視）」が同数で、3番目に多くなっている。



【7】【6】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

- ・ 保育を楽しめる人
- ・ 保育の理念や内容に賛同する人
- ・ 職業適正、保育士として必要な雰囲気
- ・ 法人の理念である「子どもの最善の利益」を大切にされている人、また子育て支援・療育に対し、学びたいという興味関心を持っている人

【8】 保育士等の定着のために実施または工夫していることを選択してください。（5個まで選択可能）

保育士等の定着のために実施または工夫していることは、「職場の人間関係づくり」が最も多く、次いで「事務負担の軽減」、  
「休暇の取りやすさ」となっている。

工夫していること	人数
職場の人間関係づくり	63
事務負担の軽減	45
休暇の取りやすさ	41
保育士等の意見の尊重	39
給与の改善	31
勤務時間・シフトの工夫や融通	31
保育士等の心理的負担を軽くする工夫（責任の分担、安全管理のICTツール活用等）	28
残業時間・持ち帰り仕事の抑制	26
施設の教育・保育理念の発信	21
教育・保育内容	15
家庭・子育てとの両立支援	14
仕事の相談支援体制	11

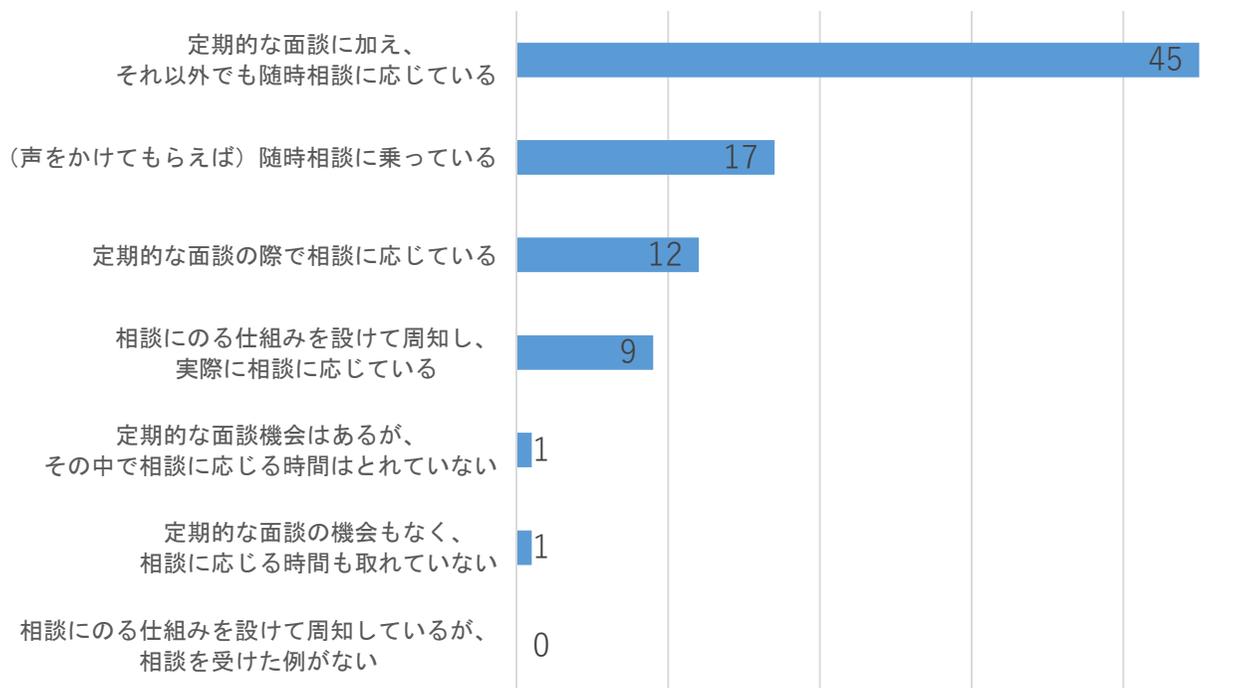
工夫していること	人数
保護者や地域との関係性向上	9
勤務形態（時短、日勤等の契約形態）の選択肢	8
研修の充実	8
その他福利厚生 of 充実	7
施設や設備の充実度・新しさ	6
人事評価制度の工夫	5
寮や家賃補助制度	5
昇給制度（キャリアアップ）の存在や明確さ	4
保育士等への日々の保育のフィードバック機会の確保	1
特にない	0
その他	0

【9】 【8】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

「その他」 0件

【10】保育士等の悩みごと等に対する相談体制について、あてはまるものを選択してください。

保育士等の悩みごと等に対する相談体制について「定期的な面談に加え、それ以外でも随時相談に応じている」、「（声をかけてもらえば）随時相談に乗っている」、「定期的な面談の際で相談に応じている」、「相談に乗る仕組みを設けて周知し、実際に相談に応じている」と回答した施設は83施設であり、回答のあった施設のうち97%の施設が、保育士等の相談に応じている。



【11】 【13】 【15】 2019年度から2021年度に中途退職（定年退職者以外）した保育士等の数を記入してください。

中途退職者数は、2021年度が最も多く、1施設あたり平均1～2名程度で、1施設あたり最大で12人が中途退職している。

	2021年度	2020年度	2019年度
1施設あたりの平均人数	1.87	1.51	1.58
合計人数	157	127	133
最大人数	12	7	9
最小人数	0	0	0

※有効回答数：84

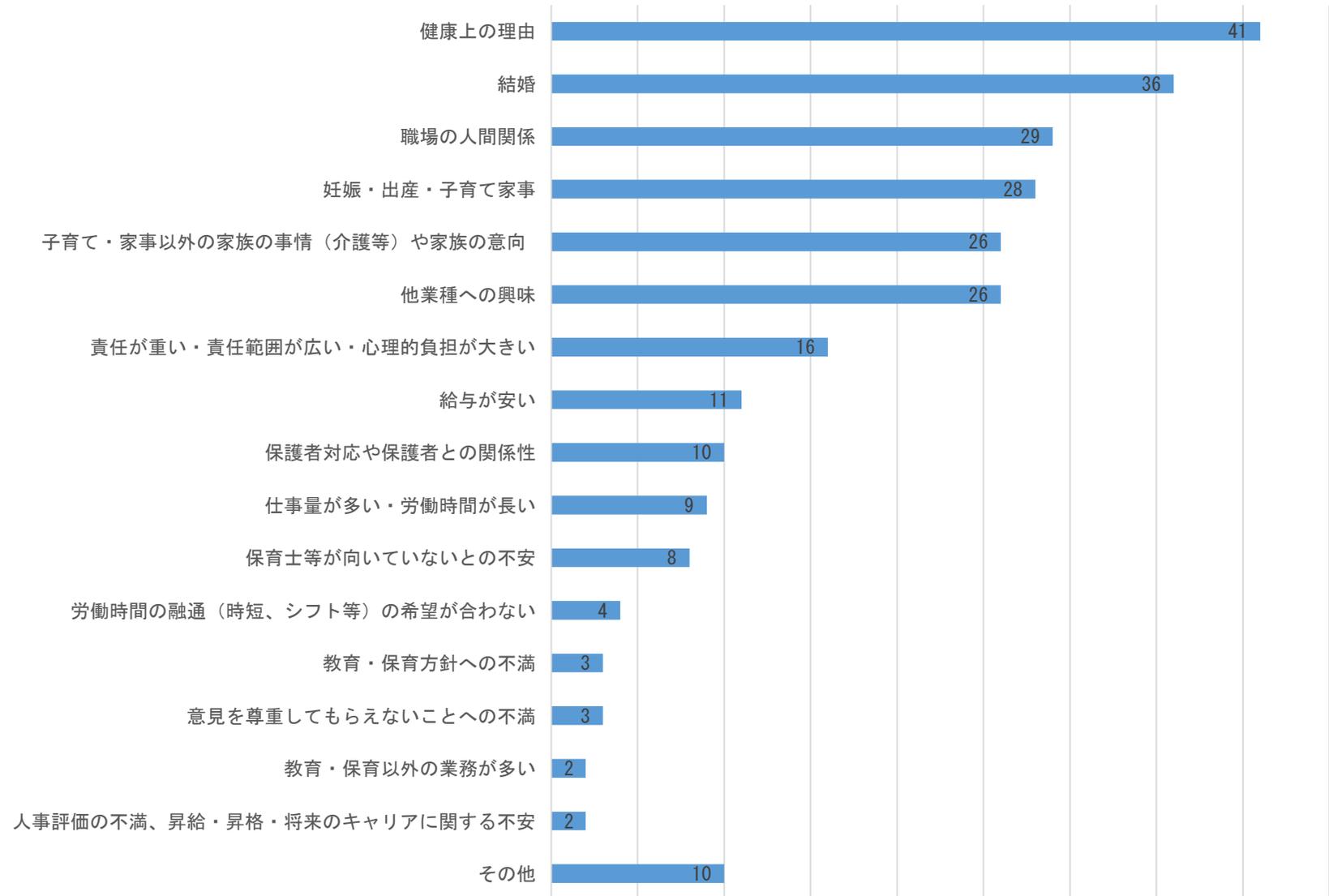
【12】 【14】 【16】 2019年度から2021年度の中途退職者の勤続年数で最も多いものを選択してください。

令和元年度から3年度の中途退職者の勤続年数上位3区分は、「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」、「5年以上7年未満」となっている。

	2021年度	2020年度	2019年度
1年未満	7	7	10
1年以上3年未満	24	18	19
3年以上5年未満	7	14	12
5年以上7年未満	13	7	6
7年以上10年未満	7	3	3
10年以上15年未満	3	4	2
15年以上20年未満	0	1	0
20年以上	1	2	2

【17】直近3年間に貴施設を中途退職された方（定年退職者以外）の退職理由について当てはまると思われるものを選択してください。（17個まで選択可能）

退職理由は、「健康上の理由」が最も多く、次いで「結婚」、「職場の人間関係」となっている。



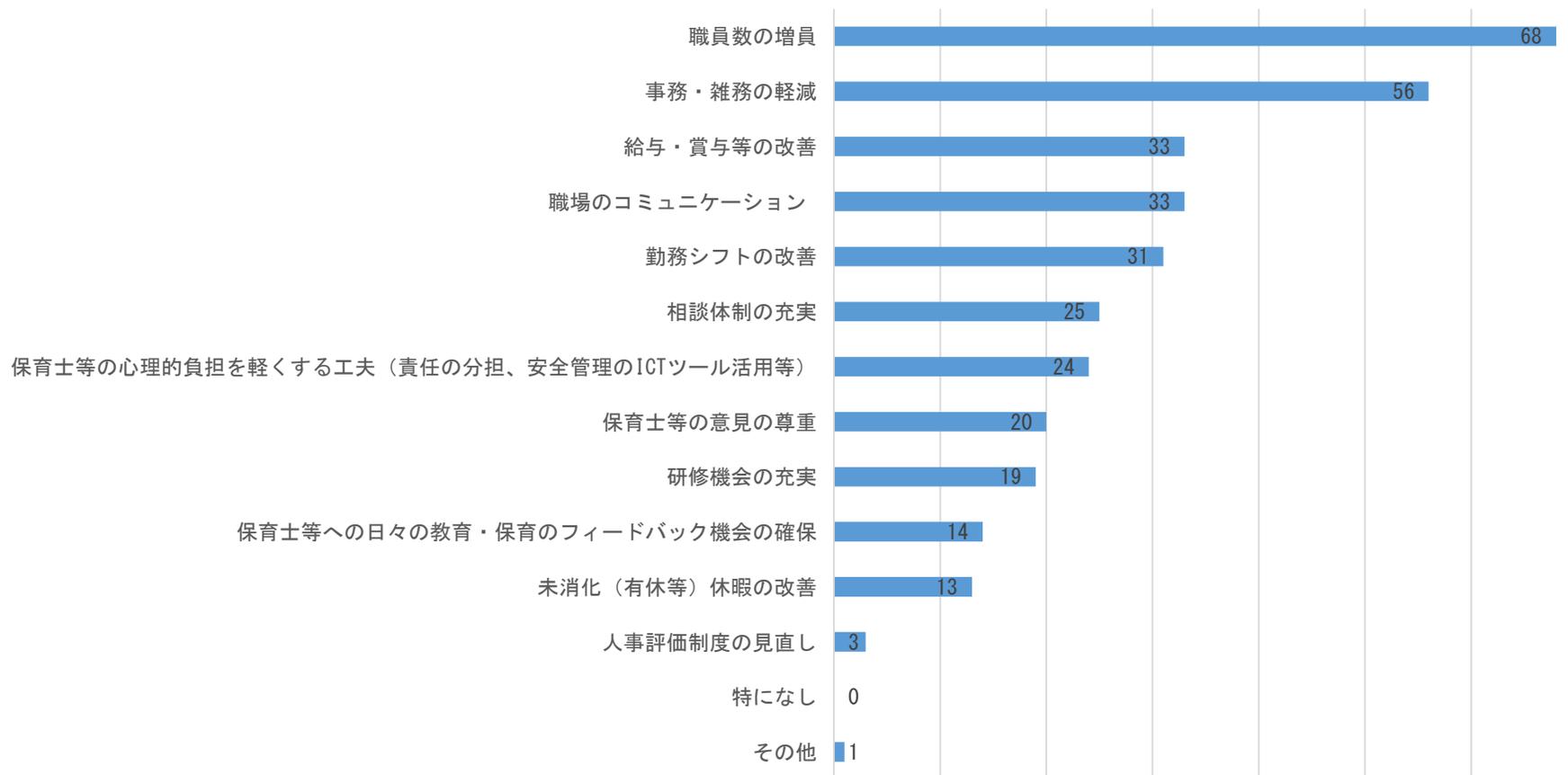
【17】【16】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

**【主な内容】**

- ・ 配偶者の転勤（2件）
- ・ 他園からの引き抜き（2件）
- ・ 転居（2件）
- ・ 無断で休んだり提出物を提出せず、話を重ねたが理由が曖昧なまま退職
- ・ 退職理由が不明
- ・ 年度途中退職者はなし
- ・ 持病の悪化

【19】保育士等の働く環境をよりよくするために、改善をしたいと考えていることはありますか。（5個まで選択可能）

働く環境をより良くするために、改善したいと考えていることは、「職員数の増員」が最も多く、次いで「事務・雑務の軽減」、となっており、「給与・賞与等の改善」と「職場のコミュニケーション」が同数で3番目に多かった。

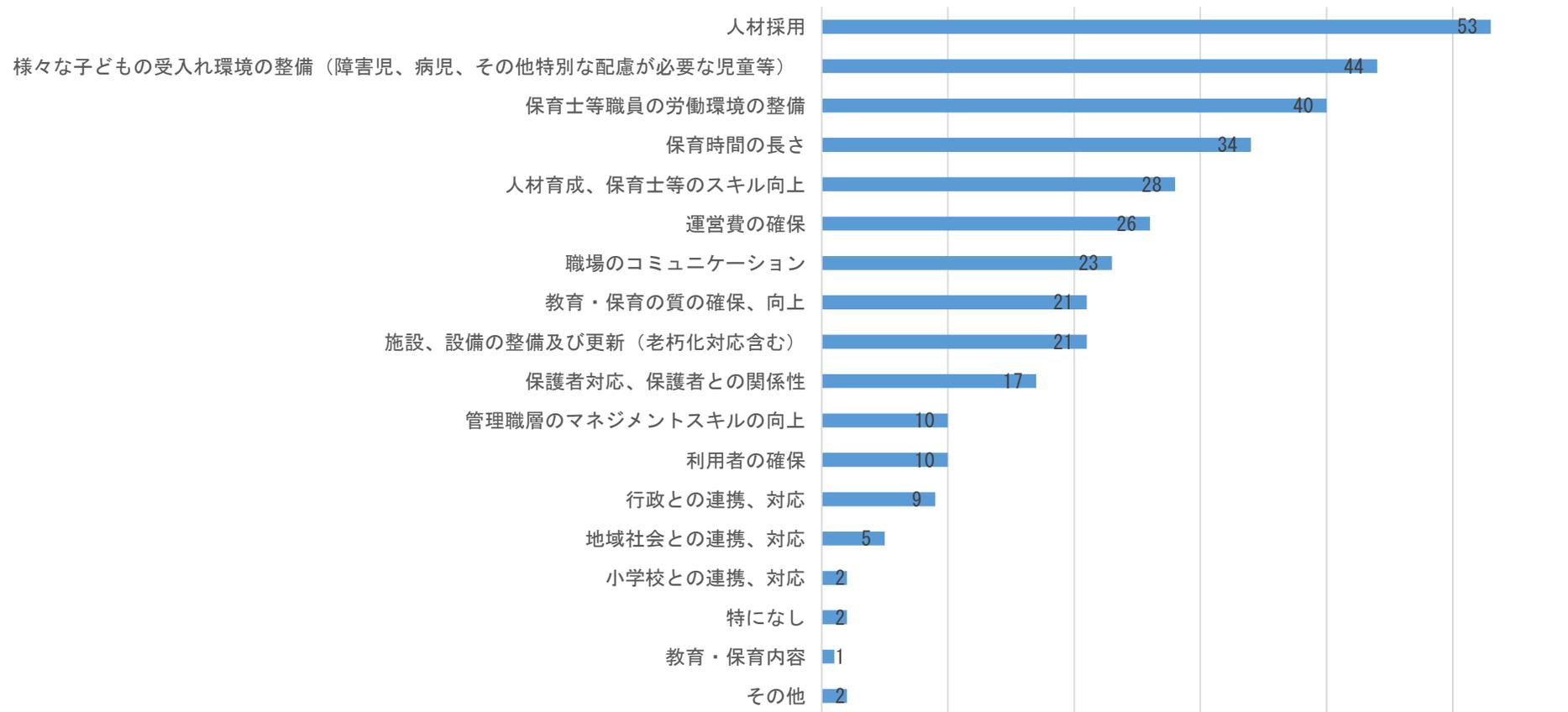


【20】【19】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

・休憩時間がとれる人員配置

**【21】施設の運営上感じる課題があれば選択してください。（5個まで選択可能）**

運営上感じる課題は、「人材採用」が最も多く、次いで「様々な子どもの受入れ環境の整備（障害児、病児、その他特別な配慮が必要な児童等）」、「保育士等職員の労働環境の整備」となっている。



**【22】【20】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。**

- ・最低基準通りの人員配置では、充実した保育ができない。
- ・都会暮らしに憧れる若い保育士は、処遇だけでも相当なアドバンテージがないと、田舎は魅力がないと思う。

【主な内容】

①配置基準の見直しに関すること（7件）

- ・保育士の配置基準を見直してほしい。質の高い保育を実施しようと思ったとき、例えば1歳児6人に対して1人は厳しい。当園は4人に対して1人程を配置しているが、そうすると運営的に難しくなる。この状態で、有休をきちんと与え、更に超過勤務手当まできちんと与えると本当に運営が厳しい。職員のサービス残業に助けられているところも正直ある。

②配慮が必要な子どもへの対応に関すること（6件）

- ・集団生活の中で、特別な配慮が必要な子ども達と一緒にみる先生たちの負担は年々大きくなってるように感じる。

③給与の改善に関すること（5件）

- ・保育士の仕事軽減をしようと考えたらマンパワーが必要。保育士を採用しようとする資金が必要。そのジレンマがある。いくらICTを取り入れても、最終的には人。手当や一時金ではなく、基本給をアップできるような状況にならない限り、保育従事者の問題は解決しないのではないかと考えている。報道による保育士のマイナスな情報だけが前に出てくることも問題だと考える。

④保育士不足に関すること（6件）

- ・保育士不足は深刻で、募集をしても応募がない。反面、配慮が必要な子どもは増えてきている。子どもの気持ちに寄り添う保育は、てまひまと人手が必要。独自の配置基準の増加とそれに見合う補助金の検討をお願いしたい。
- ・療育施設を増やす事で、そこに保育士が流れ、保育士不足が加速した為、特別な配慮が必要な子ども達に、職員を当てる事が厳しい現状があるように感じる。

⑤研修に関すること（4件）

- ・どの保育園でも受けられる研修を増やしてほしい。

⑥適正保育に関すること（2件）

- ・土曜日の利用について改善してほしい。コロナ流行期に親とたくさん過ごした子どもたちは、噛みつき等も落ち着くなど良い効果もあった。

⑦その他

- ・人材派遣会社を通して人材を確保すると、人材派遣会社への手数料等が発生するが、その分を今の委託費で賄うのは難しい。